

消防団入退団式を開催 (4月2日)

大宇陀ふれあい交流ドームにおいて、「宇陀市消防団入退団式」を開催しました。

今年の新入団員は12人。式典では、辻村一誠さん(室生第2分団)が代表して、「良心に従い、忠実に消防の義務を遂行する」と力強く宣誓され、また退団者を代表して前団長笹尾和志さんが謝辞を述べられました。

退団された皆さんは、災害現場での活動をはじめ、訓練や防火啓発、年末夜警など地域を守る取り組みとして、長年にわたり消防団活動に従事していただきました。今後は、消防団で培われた情熱を絶やすことなくますますのご活躍を期待しています。



新入団員の辻村さん



前団長の笹尾さん

～消防車両の引き渡し～

消防団に消防車両1台の引渡しが行われました。これは新旧車両の入れ替えに伴うもので、大宇陀第2分団に車両が引き渡されました。



～消防団長に 大畑吉偉さんが就任～

宇陀市消防団の団長に、新たに大畑吉偉さんが就任されました。

大畑さんは、これまでに分団長や副団長を歴任するなど、長年にわたり消防活動に携わる経験豊かな新団長です。今後もより一層頼もしい消防活動を願っています。

なお、3月31日をもって団長を退任された笹尾和志さんには長年にわたり消防団を指導・牽引し、火災や台風など災害から市民を守っていただき、ありがとうございました。ますますのご活躍を期待しています。



重症心身障害児(者)等 居場所づくり事業

～「つばめくらぶ」が始まりました～

この事業は、身近な地域で、重症心身障害児(者)の日中預かりと入浴支援を提供するものです。

県東部・南部において、重症心身障害児(者)および医療的ケア児(者)の居場所(日中活動の場)が不足しているなか、日中活動の場を確保するとともに、日常的に介護をしている家族の精神的および身体的負担の軽減につなげます。

去る4月15日、社会福祉法人心境荘苑において、重症心身障害児(者)等居場所づくり事業「つばめくらぶ」がスタートしました。



当日は、3組の利用者とその保護者を迎え、オープニングでは、「つばめくらぶ」オリジナルソングのお披露目がありました。また午後からの音楽療法では、いろいろな楽器に触れたり、音を出したり、体で音楽を感じて楽しい時間を過ごすことができました。

今後も、障がいのある人やその家族に寄り添い、安心して暮らすために必要な支援を継続していきます。

重症心身障害 … 「重度の知的障害」と「重度の肢体不自由」が重複している状態

医療的ケア … 人工呼吸器による呼吸管理、気管切開や喀痰吸引その他の医療行為

